

『令和2年度 郷土づくりシンポジウム』を開催しました。 — 「大雨による大規模自然災害・・・対応を考える」 —

主催：（一社）鳥取県測量設計業協会、国立大学法人鳥取大学
後援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所
鳥取県、公立鳥取環境大学、鳥取大学振興協力会、中国地質調査業協会鳥取県支部
（一社）日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会

平成24年10月、「東日本大震災の教訓・・・これからの郷土づくり」と題して郷土づくりシンポジウムを開催してから、第9回のシンポジウムの開催となりました。

災害対応の施策や制度、現実の対応を学び、災害対応に係わる者としての責任と自覚の再確認また、発災から復旧完了までの流れや手続き等を学び、自分が携わる業務の位置付けや役割を知り、責任と自覚を再認識するため、国土交通省、鳥取県、国立大学法人鳥取大学、公立鳥取環境大学等と連携するとともに、「鳥取県建設業魅力発信事業」としてこのシンポジウムを開催しました。

会場前のスペースでは、賛助会員によるトータルステーションの展示・実演を行いました。

当日は、新型コロナウイルス感染対策として、Web受講も取入れ開催しました。鳥取工業高校、米子工業高校、産業人材育成センター倉吉校、倉吉農業高校の生徒の皆さんには、Webで参加していただきました。また、希望校にはドローンの実演も行いました。会場・Web含め250名余りの多くの方に参加していただき、盛会裡に終了しました。

この会の開催に当たり、講師・パネラーの方々にはお忙しい中お難うございました。

日時 2020年10月22日(木)

13:00～17:00

場所 とりぎん文化会館

第1会議室

シンポジウムの様子



【開会挨拶 会長 大野木 昭夫】



【来賓挨拶
国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所
所長 橋本 浩良 氏】



【来賓挨拶
鳥取県県土整備部部長 草野 慎一 氏】

【第1部】 基調講演

「中国地方整備局の取組み ～国土を整え、全力で備える～」



【 国土交通省中国地方整備局
統括防災官 道中 貢氏】

「災害応援報告」

「福島県における台風19号災害応援に至った経緯」



【 鳥取県測量設計業協会
理事 松本義政 】

「福島県における台風19号災害の実情と応援の成果」



【 シンワ技研コンサルタント㈱
測量補償部3D計測推進室長 倉繁 仁 】



【第2部】話題の提供と意見交換

「大雨による大規模自然災害・・・対応を考える」



司会 鳥取県測量設計業協会副会長 澤 克生
パネラー 国土交通省中国地方整備局統括防災官 道中 貢 氏
鳥取県 県土整備部長 草野 慎一 氏
鳥取県測量設計業協会会長 大野木 昭夫

【司会 総務委員長 大西 幸人】



高校でのドローン実演



高校での Web 受講風景